

---

---

## 芥川賞作家・小川洋子氏の番組 TOKYO FM 系 JFN38 局ネット『Melodious Library』が 放送開始から1周年を迎えます

---

---

「妊娠カレンダー」「博士の愛した数式」「ミーナの行進」など、ベストセラー作品を次々と発表している芥川賞作家・小川洋子氏がパーソナリティを務める番組『Panasonic Melodious Library』（TOKYO FMをはじめとするJFN系列全国38局ネット）が、7月6日（日）、放送開始から1周年を迎えます。

毎週1冊の名作を取り上げ、小川氏の解説と、作品のイメージを広げる音楽と共に、文学の新しい楽しみ方をご紹介するこのプログラムは、文学ファンのみならず、幅広い年代から好評をいただいています。

第一回目の放送（2007年7月1日）で夏目漱石の「こころ」を取り上げて以来、「アンネの日記」（アンネ・フランク）、「星の王子さま」（サン・テグジュペリ）、「変身」（カフカ）などの海外作品や、「走れメロス」（太宰治）、「たけくらべ」（樋口一葉）、「羅生門」（芥川龍之介）など国内作品の名作文学のほか、「ジョゼと虎と魚たち」（田辺聖子）、「窓ぎわのトットちゃん」（黒柳徹子）、「風の歌を聴け」（村上春樹）などの現代文学、そして自身の作品「博士の愛した数式」など、これまで様々な作品を取り上げてきました。

小川氏の作家ならではの視点による解説と、作品にまつわる音楽や、イメージを喚起する音楽によって、名作文学の世界観を体感するFMラジオならではのプログラムは、10代～60代超の幅広いリスナーから支持を集めており、毎週、番組や本の感想、取り上げてもらいたい作品のリクエストのほか、以下のような多くの反響をいただいています。

- ◇ 本はあまり好きではなかったが、自分の知らなかった名作について教えてもらえ、本への関心が増した。（15才男性）
- ◇ この番組を聴いて、小川さんの声に吸い込まれていくように、FMラジオの素晴らしさを知りました。（16才女性）
- ◇ このラジオを聴いた後、午後から本屋さんに行って、次に読む本を探すのは楽しいです。（19歳女性）
- ◇ やばい・・・こんな番組をもっと増やして欲しいと思います。（25歳男性）
- ◇ ちょっと近寄りがたかった作品も、お二人の解説などを聞いているうちに読んでみたくなります。（31歳男性）
- ◇ 今一番好きなラジオ番組です。子どもたちにはママの好きな番組だから30分だけ静かにしてと言っています。作品に合わせて流れる音楽もとても良いです。（38歳女性）

また、取り上げる名作文学のイメージに合わせ、オリジナルな内容で制作・放送しているPanasonicのCMは、番組内容と企業ブランドイメージをクロスさせた広告です。

放送2年目に突入する7月以降も、「一千一秒物語」（稲垣足穂、7月6日放送）、「ナショナル・ストーリー・プロジェクト」（ポール・オースター編、7月13日放送）、「老人と海」（ヘミングウェイ、7月20日放送）、「ビタミンF」（重松清、7月27日放送）と、内外の名作文学を選りすぐってご紹介してまいります。

## 『Panasonic Melodious Library』番組概要

- 放送日時：毎週日曜 午前10:00～10:30 (JFN全国38局ネット)
- パーソナリティ：小川洋子、藤丸由華 (アシスタント・TOKYO FMアナウンサー)
- 番組HP : <http://www.tfm.co.jp/ml/>

## 小川洋子氏プロフィール

1962年岡山市生まれ。早稲田大学第一文学部文芸科卒業。

88年「揚羽蝶が壊れる時」で海燕新入文学賞、91年「妊娠カレンダー」で第104回芥川賞、

04年「博士の愛した数式」で第1回本屋大賞、04年「ブラフマンの埋葬」で泉鏡花文学賞を受賞。

07年7月より芥川賞選考委員就任。